

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2024年6月21日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	商学部
留学(渡航)した時の学年	2年生
帰国年月日	2024年5月21日
明治大学卒業予定年月	2026年3月
留学先大学について	
留学先国	イギリス
留学先大学	イースト・アングリア大学(日本語名) University of East Anglia(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/英語
留学期間	2023年9月～2024年5月
留学先大学で在籍した学年	2年生
留学先の所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名:ノーリッチビジネススクール 現地言語での名称:business and management <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 9 月下旬～12 月中旬 2 学期: 1 月下旬～5 月中旬 3 学期: ～ 4 学期: ～
学生数	16,872
創立年	1963

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (£)	日本円	備考
授業料	0	0 円	交換留学のため
宿舍費	7,920	1,581,029 円	
食費	1800	362,366 円	
図書費	0	0 円	
学用品費	0	0 円	
携帯・インターネット費	70	13,973 円	£10 で 25GB の giffgaff の sim 使用
現地交通費	0	0 円	(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	400	80,525 円	
被服費	0	0 円	
医療費	0	0 円	
保険費	243	45,000 円	形態: 明治大学の保険料
渡航旅費	1233	248,270 円	
ビザ申請費	500	92,674 円	
雑費	1,000	201,000 円	
その他		円	
その他		円	
合計	13,166	2,624,837 円	

渡航関連

渡航経路
往路 出発地: 成田空港 目的地: ヒースロー空港 経由地: 仁川国際空港 復路 出発地: ヒースロー空港 目的地: 羽田空港 経由地: 香港国際空港
渡航費用
① 往復チケットを購入した場合 航空会社: 料金: ② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社: アシアナ航空 料金: 113,880 復路 航空会社: キャセイパシフィック航空 料金: 134,390 円 ∴ 合計: 248,270
航空券購入方法
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名: HIS, trip.com) <input type="checkbox"/> その他()
滞在形態関連
1) 種類(留学中の滞在先)(例: アパート、大学の宿舎等)
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前: Barton House) <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ
2) 部屋の形態
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数)
3) 共有部分
<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
4) 住居を探した方法:
留学先大学からメールで案内が送られました。
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
建物全体的にきれいで明るかったです。さらにランドリーが向かいの建物いあるため便利でした。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

Norwich は治安がとても良いので特別な対策はしてません。旅行に行く時はいつもより気をつけるにはしていました。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

wifi はありますが、つながらないこともあり、不安定でした。また、街中ではインターネットの繋がりが悪かったり、圏外になることが多く、不便でした。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

日本の銀行に紐付けされたクレジットカードを3枚持って行きました。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えて下さい。

電子レンジで調理できるパスタやお米の容器、飲み慣れた薬、ユニクロのヒートテック(ロンドンなどでも購入できるが高い)、自分の使い慣れているスキンケアやメイク用品、コンソメと鶏ガラの粉末やポン酢などの日本特有の調味料

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)



学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
単位		<input checked="" type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限		
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:		
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。		
履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Understanding the business environment		ビジネス環境の理解
科目設置学部・研究科	Norwich Business School	
履修期間	秋学期	
単位数	20 単位	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	レクチャーとセミナー(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 110 分と 50 分が各 1 回	
担当教授	Andrew Greenman	
授業内容	企業や組織がどのようにビジネスの環境変化に対応しているのか必要不可欠な知識を学んだ。	
試験・課題等	レポートが中間と期末にそれぞれあった	
感想を自由記入	ビジネス界を取り巻く環境についての基礎を学ぶことができ、とても興味深かった。	



履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Marketing Communications	マーケティング広告論
科目設置学部・研究科	Norwich Business School
履修期間	秋学期
単位数	20 単位
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	レクチャーとセミナー(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 110 分が 2 回
担当教授	Tony Polack
授業内容	マーケティング・コミュニケーションにおける基本的な概念、理論、テクニックに関する詳細な知識を学んだ。
試験・課題等	グループプレゼンテーションとレポートが期末にあった
感想を自由記入	聞くだけの授業だけでなく、実際にグループになってcmを作るというプロジェクトができたのは良かった。しかし、グループの人が自分以外みんな中国人で英語で全くコミュニケーションがとれず、話し合いになかなか参加できないという問題点があった。グループのメンバーも大事になってくると思う。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Employability, creativity and personal development	雇用能力、創造性、自己開発
科目設置学部・研究科	Norwich Business School
履修期間	秋学期
単位数	20 単位
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	レクチャーとセミナー(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 110 分と 50 分が各 1 回
担当教授	Fahri Karakas
授業内容	コミュニケーション、チームワーク、リーダーシップ、創造性、デザイン思考、問題解決など、ビジネス学生、卒業生、卒業生の雇用主のニーズに合った雇用可能なスキルの開発について学んだ。
試験・課題等	レポートが中間と期末にそれぞれあった
感想を自由記入	日本ではあまり見られない授業内容でとても興味深かった。自分はどんな人なのかを見つめ直し、将来について考える良い機会になった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
introduction to digital business	デジタルビジネス入門
科目設置学部・研究科	Norwich Business School
履修期間	春学期
単位数	20 単位
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	レクチャーとセミナー(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 110 分と 50 分が各1回
担当教授	Steve Jones
授業内容	どのようにデジタル・ビジネスは、情報の取得、処理、保存、配布によって、トランザクション、意思決定、コラボレーションのビジネス・プロセスをサポートし、情報の取得、処理、保存、配布によって、デジタル・ビジネスがどのように取引、意思決定、協調的なビジネス・プロセスを支援するかを学んだ。
試験・課題等	オンライン監視型テストとレポートが期末にあった
感想を自由記入	デジタルという現代の社会では必要不可欠なものをさまざまな視点から考え、ビジネス界にどのように応用するのか理解することができ、とても役に立った。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Developing talent	人材育成
科目設置学部・研究科	Norwich Business School
履修期間	春学期
単位数	20 単位
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	レクチャーとセミナー(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 110 分と 50 分が各1回
担当教授	Susan Sayce/Simon Turner
授業内容	個人と組織の観点を統合し、競争の激しいグローバルな労働市場において、自分のキャリアだけでなく他者のキャリアも管理できるようにするにはどうすればよいのか学んだ。
試験・課題等	レポートが期末にあった
感想を自由記入	今まで管理やHRについての授業をとったことがなかったためとても新鮮で、インタビュー活動などを通して理解を深めることができた。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Business ethics	ビジネス倫理
科目設置学部・研究科	Norwich Business School
履修期間	春学期
単位数	20 単位
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	レクチャーとセミナー(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 110 分と 50 分が各1回
担当教授	Duncan Maguire
授業内容	ビジネスや社会における重要な意思決定や課題に取り組むために不可欠な知識とスキルを学んだ。
試験・課題等	中間で短いレポートが 2 個と期末に 3000 字のレポートがあった
感想を自由記入	ビジネスを行う上で厄介になってくる倫理という難しいトピックをわかりやすく、ケーススタディーなどを利用して考えていき、理解を深めることができた。



卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。(例: 留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。) 就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

インターン探しを留学中に始めていました。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	Toefl 受験
	10月～12月	選考
留学開始年	1月～3月	出願、留学先決定
	4月～7月	航空券購入、visa 申請
	8月～9月	留学開始
	10月～12月	秋学期、期末課題、冬休み(12月から1月)
留学/帰国年	1月～3月	春学期
	4月～7月	イースター休み(3月末から4月末)、期末課題、帰国
	8月～9月	
	10月～12月	

留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイス等、自由に記入してください。

UEA を選んだ理由は留学生在が世界中から多く集まり、とても国際的な環境に身を置けるからです。また、Norwich の自然豊かで緑に溢れるキャンパスにも魅力を感じ、ここに決めました。

・日常生活

円安と物価高だったこともあり、自炊生活をする上でどれだけ節約できるかを日々考えていました。野菜などを安く買えるスーパーが train station の近くにある Morrison というところだったので、月に 2 回ほど 2 週間分をまとめ買いしていました。また、寮から徒歩 10 分ほどの場所にある 24 時間空いている tesco というコンビニのような場所も多く利用していました。紙類やシャンプーなどの日用品は city にある savers というディスカウントショップが安くておすすめです。

放課後は友達と料理したり、外食したりしていました。また、毎週キャンパス内で行われるクラブに友達と行ったりして楽しんでいました。

・勉強

勉強できる環境が整っている印象を受けました。図書館は 24 時間開放されていていつでも利用できます。また、カフェや外のベンチなどでも作業ができます。暖かくなった春にはピクニックをしながら課題に取り組んでいました。

また、留学生が多いこともあり、英語をサポートするための授業なども多く開講していました。

・課外活動

私は日本でダンスをしていたため、UEA でも続けたいと思い、秋学期には dance squad の hip hop show squad に所属していました。毎週水曜日の練習が 1 時間ありました。また、通常の練習の他にも workshop で外部のダンサーによるレッスンも数回ありました。さらに、12 月に学校で show があり、3 曲ほど踊りました。春学期には dance squad で知り合った友達と korean society の dance team に所属しました。2 月に Sheffield で、3 月に Nottingham で大会に出場しました。たくさんの人とダンスを通して話すことができ、他校のダンスやイギリスのダンスの大会を見る良い機会でした。また、一緒に出場を決めた友達 2 人ともより仲を深めることができたので参加して本当に良かったと感じています。

10 ヶ月という短い期間でしたが、英語力の向上はもちろんのこと、生き抜く力も身につけることができたと思います。留学は楽しいことばかりではなく、時には壁にぶち当たることもあります。でも、人間として成長していると思って頑張ることが重要で良い経験にもなります。また、留学を通して、将来の選択も変わると思います。この先の人生を大きく変える出来事になること間違いありません。他にも、また会いたいと思える友達にたくさん出会うことができました。帰国した今でも頻りに連絡をとっているくらいの深い関係を構築できました。

大変なこともあります、行って良かったという思いのほうが帰国する時大きくなること間違いないので留学するか悩んでいる人には是非行ってほしいです。